

フィッシングメールの特徴

■ フィッシングメールの特徴 1

同志社大学のシステム管理者を騙ったメールで、ユーザ ID やパスワードの返信を要求するフィッシングメールが確認されています。同志社大学 IT サポートオフィスでは、利用者個別にユーザ ID やパスワード等といった重要な個人情報の返信をメールにて要求をすることは一切ありません。

「フィッシングメール (例 1) メール返信要求型」のようなメールはフィッシングメールですので返信せずに破棄ください。

■ フィッシングメールの特徴 2

フィッシングメールは海外から送付されてくる場合が多くあります。海外の言語で作成した文章を、翻訳エンジンにて日本語に翻訳しているためか、日本語の文章がおかしい場合があります。

「フィッシングメール (例 2) Web 入力誘引型」、「フィッシングメール (例 3) Web 入力誘引型」のように日本語がおかしな文章の場合は、フィッシングメールの疑いが強いと言えますが、日本人が関与する事も否定できませんので、必ず内容も確認してください。

■ フィッシングメールの特徴 3

フィッシングメールは「HTML 形式」で作成されていることがあります。メール本文中に「ここへクリック」などといった文章で外部リンクを設け、本当の URL は伏せたままフィッシングサイトへ誘導するためです。この細工は、「テキスト形式」で受信すれば、「フィッシングメール (例 2) Web 入力誘引型」のようなメールの「ここへクリック」を選択しても、外部サイトにリンクされません (リンク先の URL がテキストで記載される形となります) ので、比較的被害を防ぎやすいと言えるでしょう。

もし、HTML 形式での受信が必要な場合は十分に注意してください。また、リンク先の URL が正規のものかどうかの判別には、後述の「URL 判断方法の一例」、「SSL 証明書の確認方法」を参照ください。

■ フィッシングメールの特徴 4

フィッシングメールにはメール本文に URL を記載するなど、外部サイトでの Web 入力を誘引する場合もあります。(例: 「フィッシングメール (例 2) (例 3) Web 入力誘引型」)

リンク先の URL が正規のものかどうかの判別には、後述の「URL 判断方法の一例」、「SSL 証明書の確認方法」を参照ください。

■ フィッシングメールの特徴 5

フィッシングメールは、メールの送信元情報を詐称していたり、海外から送付されていたりするなど、メールのヘッダ情報に怪しい点があります。

メールヘッダの確認方法については後述の「メールヘッダの確認方法」を参照ください。

参考ページ

・警視庁フィッシング 110 番

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/haiteku/haiteku406.htm>

・フィッシング対策協議会

<http://www.antiphishing.jp/>

フィッシングメールの例

■ フィッシングメール (例 1) メール返信要求型

ACTIVEMAIL 2013.

Dear Account User,

You have reached the limit of your email quota. You will not be able to send or receive new mail until you boost your mailbox size. To complete your Account Verification process, you are to reply this message & enter your ID and PASSWORD in the space provided below to avoid account De-activated and erased from our database.

*Full Email:.....

*User ID:.....

*Password:.....

*Confirm Password:.....

Warning!!!

Account owners that refuses to update his or her account within Four days of receiving this warning will lose his or her account permanently.

Reply us via this email: [フィッシング先メールアドレスが記載されていたため削除](#)

Thanks,

Web Administrator

■ フィッシングメール (例 2) Web 入力誘引型

注意: doshisha.ac.jp ユーザー、あなたは、250 メガバイトのあなたの doshisha.ac.jp 電子メールアカウントの制限クォータを超えて、あなたは 48 時間以内にそれを拡大したり、他のあなたの doshisha.ac.jp 電子メールアカウントは、当社のデータベースから無効にされ要求されます。完全な情報を単に (ここをクリック) は 450 メガバイトにあなたの doshisha.ac.jp 電子メールアカウントのクォータを拡大するよう要請した。doshisha.ac.jp 電子メールサービスをご利用いただきありがとうございます。

著作権 (C) 2013Doshisha 大学情報センター。

■ フィッシングメール (例 3) Web 入力誘引型

同志社大学電子メールユーザー各位、

このメッセージは、同志社大学の電子メール管理者からのものである。すべて同志社大学電子メールユーザーは、アカウントを迅速かつ最大限のセキュリティを確保するための新しい 2013 年の電子メール版に彼ら同志社大学電子メールアカウントを更新する必要があることを通知すること。あなたは以下のリンクをクリックし、アカウントをアップグレードするには、同志社大学のユーザー ID とパスワード (パスフレーズ) でログインすることが期待されることに注意してください。

[http://フィッシングサイトの URL が記載されていたため削除](#)

あなたの理解をありがとう。

Doshisha University

著作権 (C) 同志社大学すべての権利予約。